

# 学校給食に地元産食材はどのくらい つかわれているのでしょうか？

こめ、牛肉、生鮮たまごは、100%！大田市産をつかっています

学校給食にできるだけ新鮮でおいしい地元産食材を使うための取り組みをしています。

お米は大田市産のコシヒカリを、牛肉は地元の牧草と稲わらで育った放牧牛を、たまごは  
地元養鶏場の鶏卵をつかっています。

大田市産：前年比10.3ポイントアップ 

## 平成26年度地産地消の割合

○品目ベース(市内産) 60.3% (H25年度 50.0%)

○品目ベース(県内産) 71.8% (H25年度 64.9%)

□出典：H26島根県学校給食の食材仕入れ状況調査 結果より

### 1. 大田市の地元産品の利用状況

食材分類 (11分類)	産地		
	大田市産	県内産	合計
米	100.0%	0.0%	100.0%
いも類	18.2%	0.0%	18.2%
豆類	90.9%	0.0%	90.9%
野菜類	63.8%	3.8%	67.6%
果実類	66.7%	0.0%	66.7%
きのこ類	66.7%	16.7%	83.4%
魚介類	83.3%	0.0%	83.3%
肉類	28.6%	42.9%	71.5%
卵類	75.0%	0.0%	75.0%
乳製品牛乳含む	0.0%	100.0%	100.0%
調理加工品	0.0%	100.0%	100.0%
総計	60.3%	11.5%	71.8%
(参)H25総計	50.0%	14.9%	64.9%

### 2. 市町村の状況

市町村名	H26年度		
	地元産	県内産	合計
松江市	27.7%	16.6%	44.3%
安来市	53.1%	6.6%	59.7%
出雲市	49.9%	6.3%	56.2%
雲南市	38.4%	21.6%	60.0%
奥出雲町	30.9%	26.3%	57.2%
飯南町	19.5%	32.4%	51.9%
浜田市	36.8%	21.4%	58.2%
<b>大田市</b>	<b>60.3%</b>	<b>11.5%</b>	<b>71.8%</b>
江津市	35.7%	14.0%	49.7%
川本町	21.7%	34.4%	56.1%
美郷町	34.8%	27.1%	61.9%
邑南町	48.2%	12.9%	61.1%
益田市	46.4%	5.6%	52.0%
津和野町	45.8%	16.7%	62.5%
吉賀町	59.2%	12.7%	71.9%
隠岐の島町	17.2%	19.9%	37.1%
海士町	75.3%	6.8%	82.1%
西ノ島町	19.9%	26.5%	46.4%
知夫村	51.0%	28.7%	79.7%
市町村平均	41.3%	9.4%	51.0%

#### \*平成26年度の取り組み

農林産物については、JA石見銀山と産直出荷者協議会との連携を軸に地元産品の拡大に、水産物については、地元鮮魚取扱業者を軸とした地場産品の拡大に努めました。平成26年度も、学校給食の地産地消コーディネーターが積極的に市内を駆け巡り、さらに多くの地元食材を学校給食にとりいれてお届けすることができたと思います。

#### \*地産地消コンテスト全国表彰受賞！（農林水産省 食料産業局長賞）

平成26年6月20日提供の学校給食が、第7回地産地消給食等メニューコンテストにおいて、全国から応募のあった137点の中から、農林水産省、文部科学省各大臣賞1点に次ぐ、農林水産省食料産業局長賞（全6点）を受賞しました。一日平均3,000食を提供している大規模調理場における地産地消率の向上については、地元食材の確保等大変な苦勞がありますが、地産地消コーディネーターを中心とした栄養士、調理スタッフ等職員の連携と生産者等との信頼関係のもと、日頃の地産地消の取り組みと特色ある地元食材を上手く使ったメニューが高く評価されました！。